

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2015年10月5日

10月5日(月)にがん進展制御研究所棟4階会議室において、エジンバラ大学・Queen's Medical Res Inst, Junior Faculty 研究員の北村剛規先生を講師に迎え、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。北村先生には、Tumor-associated macrophageの研究で知られるPollard博士との共同研究により、乳がんの肺転移に関与するマクロファージ (Metastasis-associated macrophage) の動態や分化制御に関する最新の研究成果を発表していただきました。

セミナーには、所内外の教職員、大学院生等約30名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



CCLケモカインが制御するマクロファージ (TAM)による乳がんの肺転移機構

講演者

エジンバラ大学・Queen's Medical Res Inst.

北村 剛規 先生

日時:平成27年10月5日(月) 16:30～18:00

場所:金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

北村先生は、Tumor-associated macrophage(TAM)の概念を確立した、Jeffrey Pollard博士の研究室で研究員として研究を推進しています。とくに、乳がん細胞の肺転移における「腫瘍随伴マクロファージ」の活性化や機能制御におけるCCL3の役割についての研究を推進し、CCR1阻害薬による転移性乳がんの治療効果の可能性を示しています。本研究所との微小環境における国際共同研究のため、来訪しますのでセミナーして頂きます。

皆様、ふるってご参加下さい。